

府中市子育て支援に関する市民意向調査

調査結果概要

平成 16 年 3 月

府 中 市

目 次

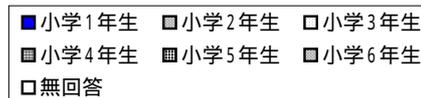
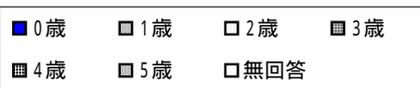
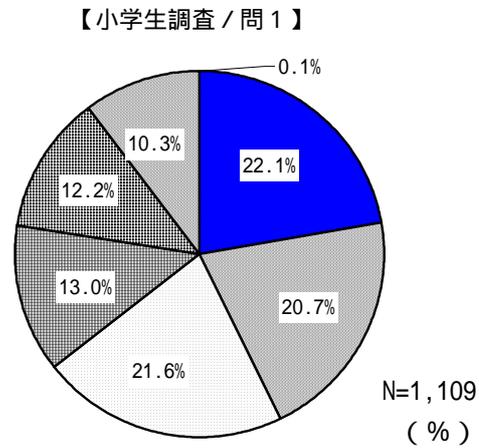
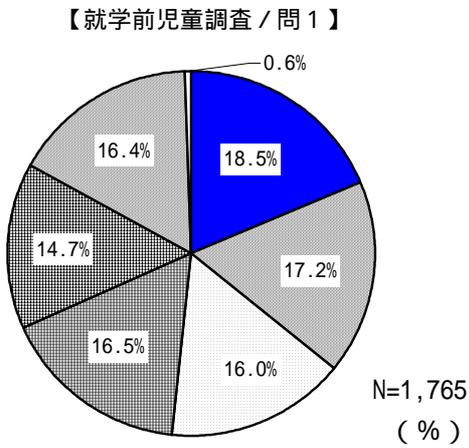
| | | |
|-------|--------------------------------|----|
| 1 | 調査対象者及び家庭の属性 | |
| (1) | 調査対象の子どもと回答者の属性 | 1 |
| (2) | 家庭の状況 | 2 |
| 2 | 子育ての実態と意識 | |
| (1) | 子どもの日中の過ごし方と居場所 | 4 |
| 1 - 1 | ふだんよく遊びに行ったり、過ごしたりしているところ | 4 |
| 1 - 2 | 小学生のふだんの生活状況(食事、塾・習い事、テレビ・ビデオ) | 8 |
| (2) | 子育てにおける周囲の関わり | 9 |
| 2 - 1 | 配偶者の子育てへの関わり方 | 9 |
| 2 - 2 | 親族や友人・知人の子育てへの関わり方 | 10 |
| 2 - 3 | 子育ての仲間の有無 | 10 |
| 2 - 4 | 子育てサークルへの参加状況 | 11 |
| (3) | 子育ての意識 | 11 |
| 3 - 1 | 子育てについて感じていること | 11 |
| 3 - 2 | 子育てについて日常悩んでいること | 16 |
| 3 | 子育て支援サービスの利用状況と利用意向 | |
| (1) | 保育サービスの利用状況・利用意向 | 17 |
| 1 - 1 | 就学前の保育サービスの利用状況 | 17 |
| 1 - 2 | 放課後児童クラブの利用状況 | 19 |
| 1 - 3 | 病児・病後児保育 | 20 |
| 1 - 4 | 一時保育 | 21 |
| 1 - 5 | ショートステイ(泊りがけ保育) | 22 |
| 1 - 6 | トワイライトステイ事業 | 22 |
| 1 - 7 | 産後ホームヘルパー | 23 |
| (2) | 保育施設や幼稚園に関する意識 | 23 |
| 2 - 1 | 保育施設や幼稚園に関する要望 | 23 |
| 2 - 2 | 放課後児童クラブに関する要望 | 24 |
| 2 - 3 | 保育園や幼稚園のあり方に関する考え方 | 25 |

| | |
|---|----|
| (3) 集いの場や遊び場の利用状況と利用意向 | 26 |
| 3 - 1 親子で集える場の認知状況 | 26 |
| 3 - 2 親子で集える場に期待する役割 | 27 |
| 3 - 3 身近な地域で子どもが集う場に期待する役割 | 27 |
| 3 - 4 子どもの遊び場について感じる事 | 28 |
| (4) その他の子育て支援サービスの利用状況と利用意向 | 29 |
| 4 - 1 ファミリーサポートセンター事業の利用状況・利用意向 | 29 |
| 4 - 2 子育てに関する相談窓口の認知度 / 利用状況 | 31 |
| 4 - 3 子育て支援サービスに関する情報入手方法 | 32 |
| (5) 市の子育て支援施策について (自由意見からの抜粋) | 34 |

1 調査対象者及び家庭の属性

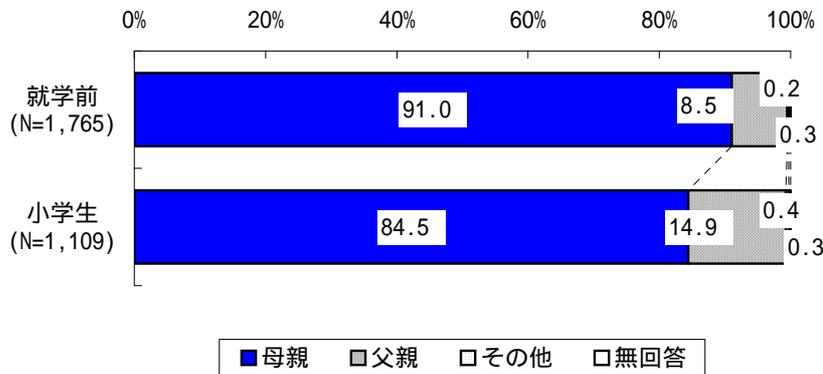
(1) 調査対象の子どもと回答者の属性

子どもの年齢



回答者の属性

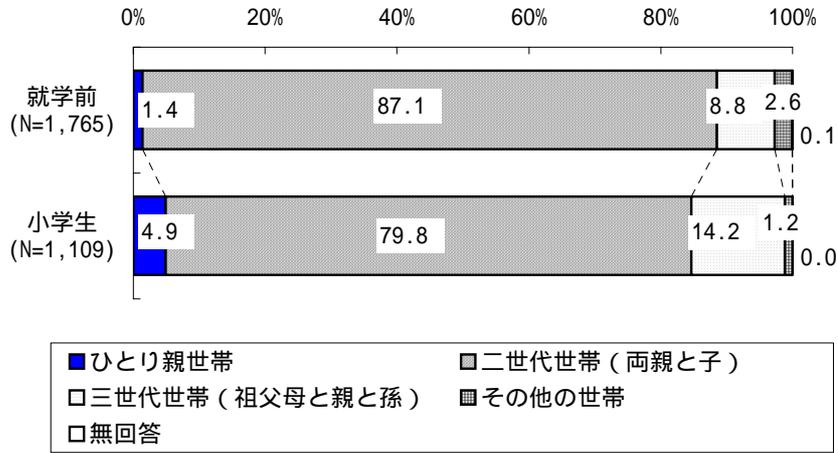
【就学前児童調査 / 問8・小学生調査 / 問8】



(2) 家庭の状況

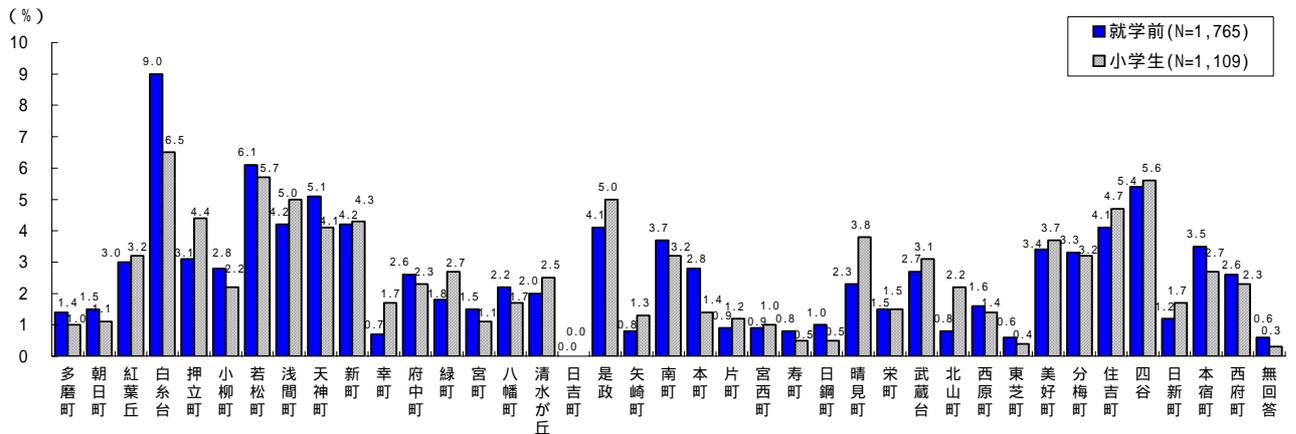
世帯構成

【就学前児童調査 / 問 4 ・ 小学生調査 / 問 4】



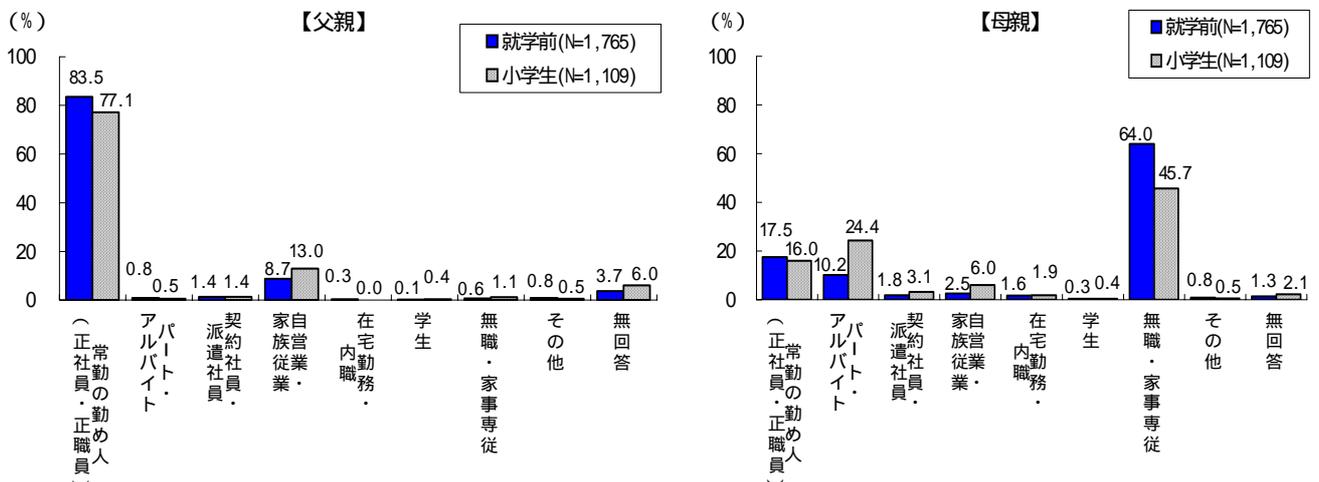
居住地域

【就学前児童調査 / 問 6 ・ 小学生調査 / 問 6】



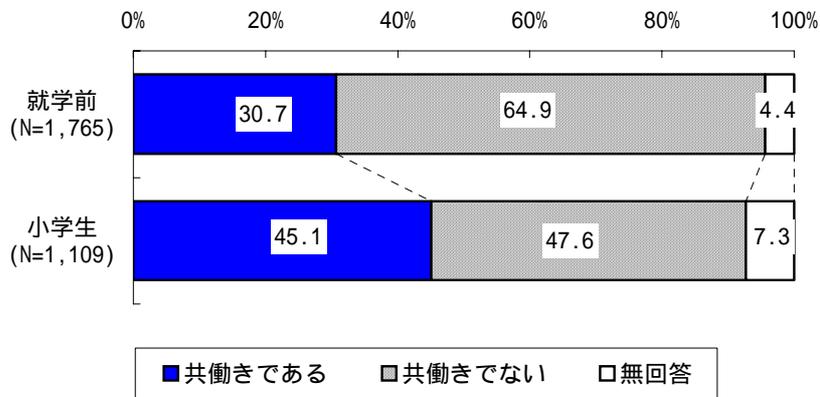
父母の就労状況

【就学前児童調査 / 問 3 ・ 小学生調査 / 問 3】



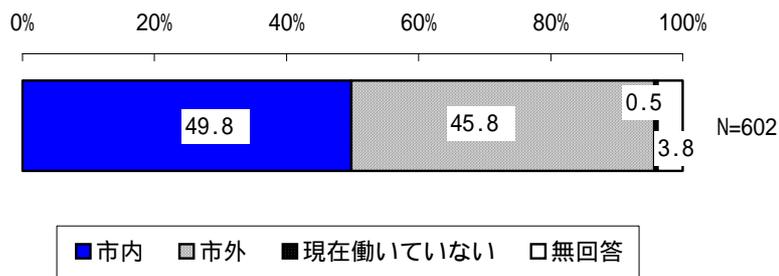
共働きの有無

【就学前児童調査 / 問3・小学生調査 / 問3】



主な保育者の就労場所

【就学前児童調査 / 問7(2)】



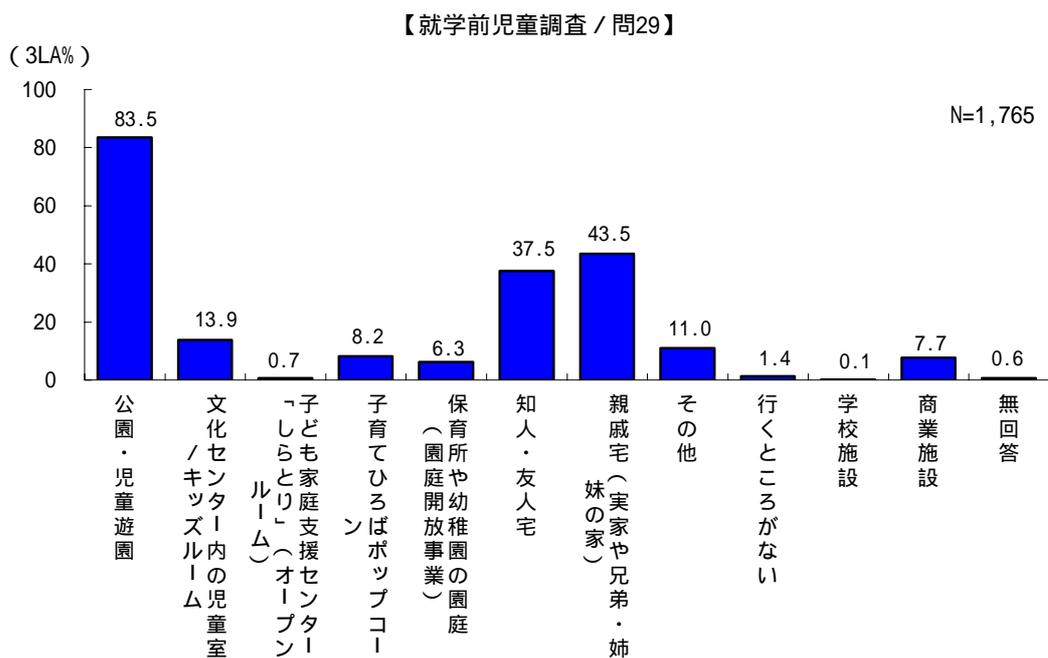
2 子育ての実態と意識

(1) 子どもの日中の過ごし方と居場所

1-1 ふだんよく遊びに行ったり過ごしたりしているところ

就学前の親子の過ごす場所

就学前の親子がふだんよく遊びに行ったり過ごしたりしているところは、「公園・児童遊園」が83.5%と最も多く、次いで、「親戚宅(実家や兄弟・姉妹の家)」(43.5%)、「知人・友人宅」(37.5%)となっている。また、その他として「商業施設」(7.7%)をあげた人が多かった。

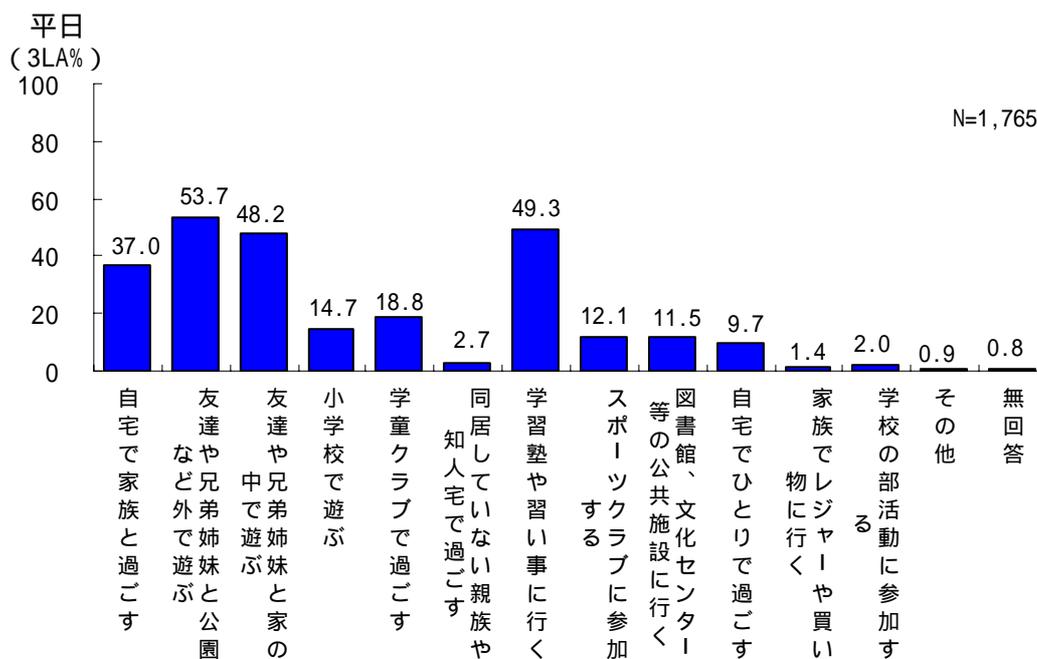


「学校施設」「商業施設」は「その他」の記入内容の別掲。

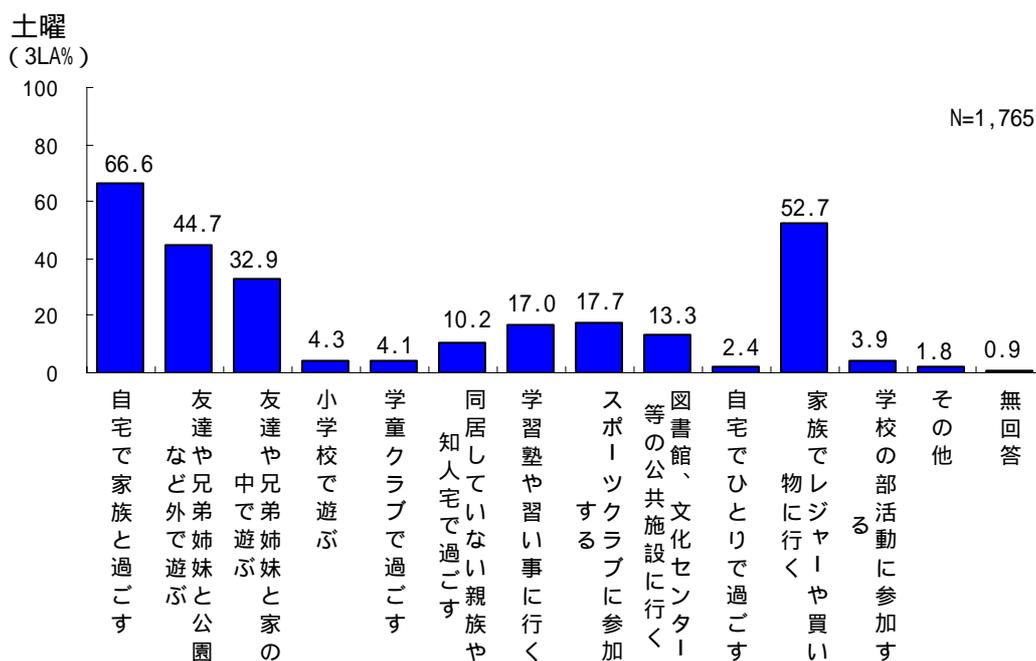
3LA : 3つまでの複数回答

小学生のふだん過ごしているところ

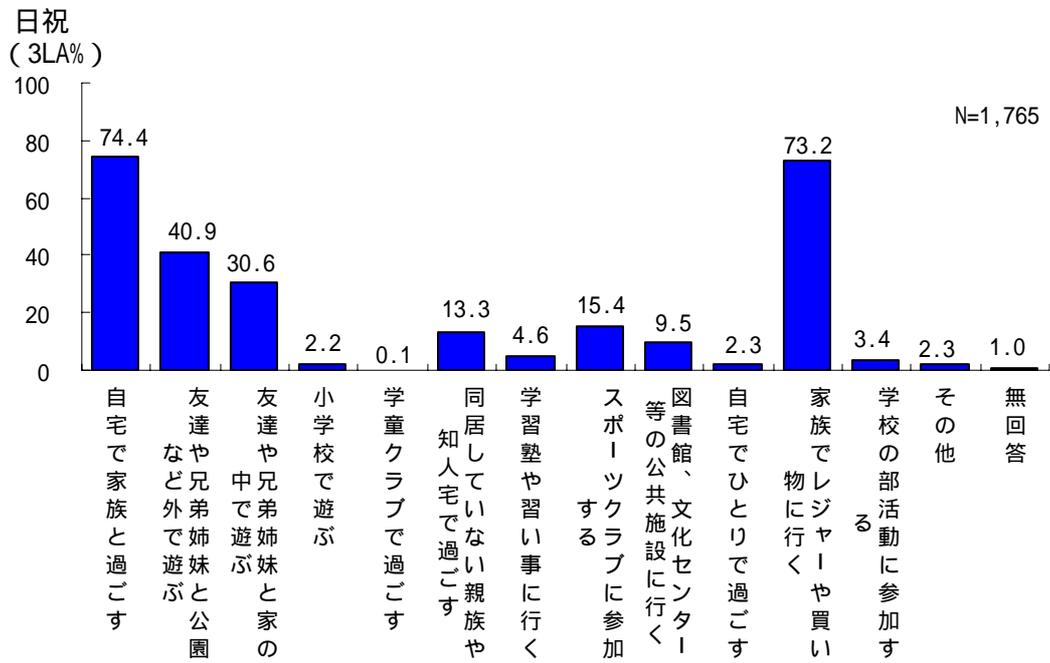
平日に小学生がふだんよく遊びに行ったり過ごしたりしているところは、「友達や兄弟姉妹と公園など外で遊ぶ」が53.7%と最も多く、次いで、「学習塾や習い事に行く」(49.3%)があげられている。また「友達や兄弟姉妹と家の中で遊ぶ」が48.2%、「自宅で家族と過ごす」が37.0%と屋内で過ごすものも多くあげられている。



土曜に小学生がふだんよく遊びに行ったり過ごしたりしているところは、「自宅で家族と過ごす」が66.6%と最も多く、次いで、「家族でレジャーや買い物に行く」(52.7%)があげられている。

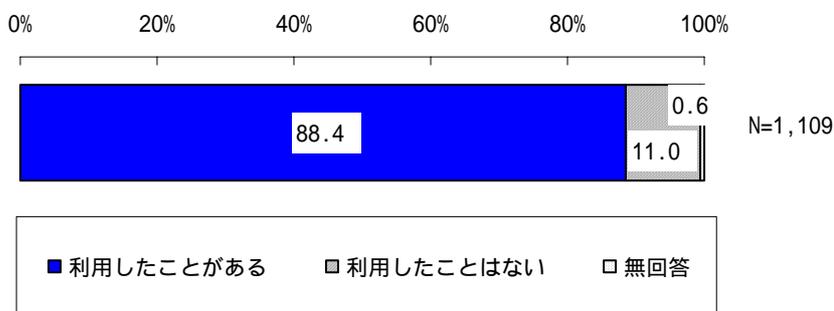


日曜・祝日に小学生がふだんよく遊びに行ったり過ごしたりしているところは、「自宅で家族と過ごす」が74.4%と最も多く、次いで、「家族でレジャーや買物に行く」(73.2%)があげられている。

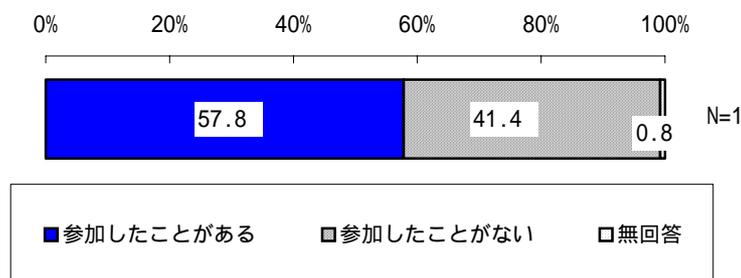


文化センターの利用状況

文化センターの利用状況としては「利用したことがある」が88.4%とほとんどを占めている。



子ども向けの講座への参加状況としては「参加したことがある」が57.8%と大半を占めている。



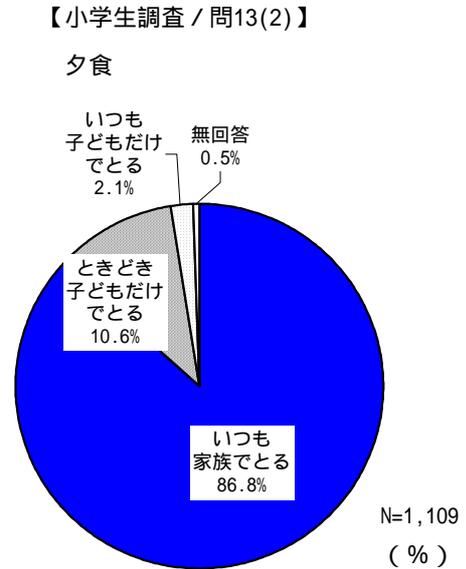
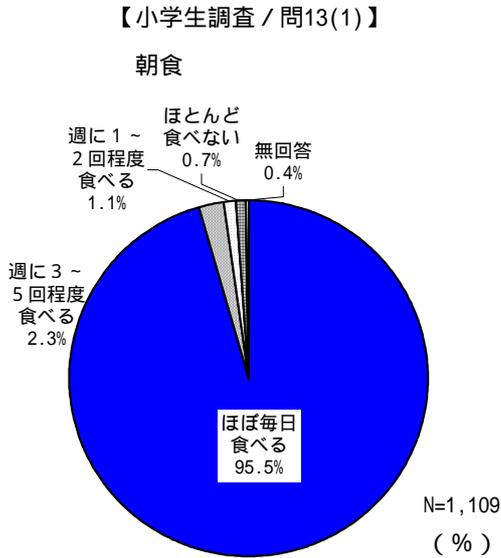
文化センターの機能や子ども向けの講座に関する自由意見としてあげられているのは「身近な場所がない」、「設備が乏しい」、「常勤の職員を配置してほしい」、「活動内容をもっとPRしてほしい」があり、改善の要望もまた高いことがうかがえる。

1 - 2 小学生のふだんの生活状況（食事、塾・習い事、テレビ・ビデオ）

食事

朝食については「ほぼ毎日食べる」が95.5%となっている。

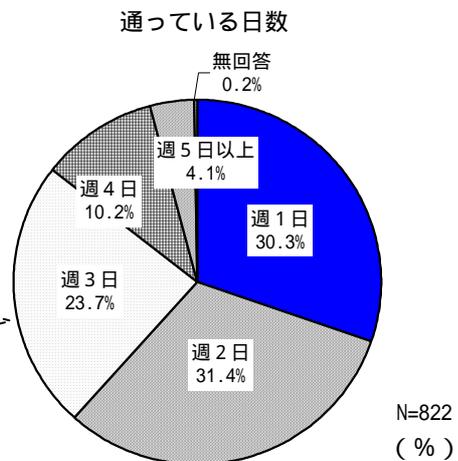
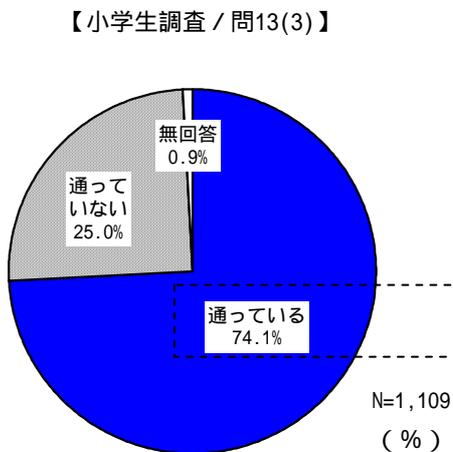
夕食については「いつも家族でとる」は86.8%で、「ときどき子どもだけでとる」が10.6%、「いつも子どもだけでとる」が2.1%となっている。



塾・習い事

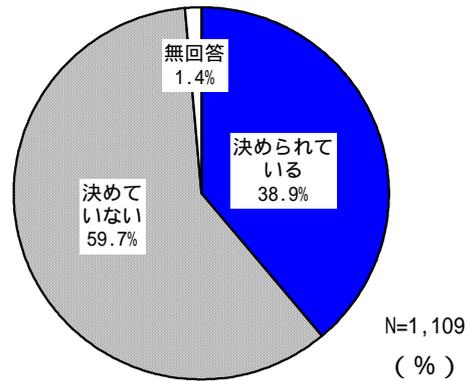
学習塾や習い事に「通っている」子どもが74.1%を占める。

通っている日数は、「週1日」(30.3%)、「週2日」(31.4%)が多いが、「週4日以上」も1割を超えている(14.3%)。



小学生について、テレビ・ビデオ
 テレビやビデオを見たり、テレビゲームをする
 時間については、「決められている」が約4割、
 「決めていない」が約6割となっている。

【小学生調査 / 問13(4)】

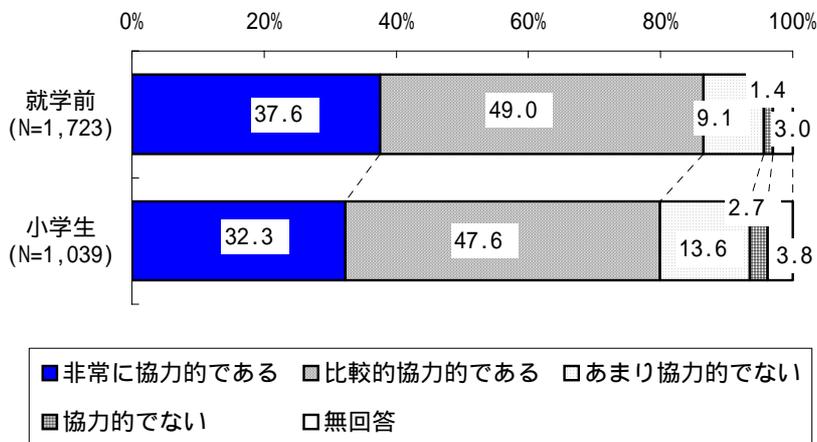


(2) 子育てにおける周囲の関わり

2 - 1 配偶者の子育てへの関わり方

配偶者の子育てへの関わり方についてたずねたところ、「協力的である」と答えた人は、就
 学前児童の保護者で86.6%、小学生の保護者で79.9%となっている。

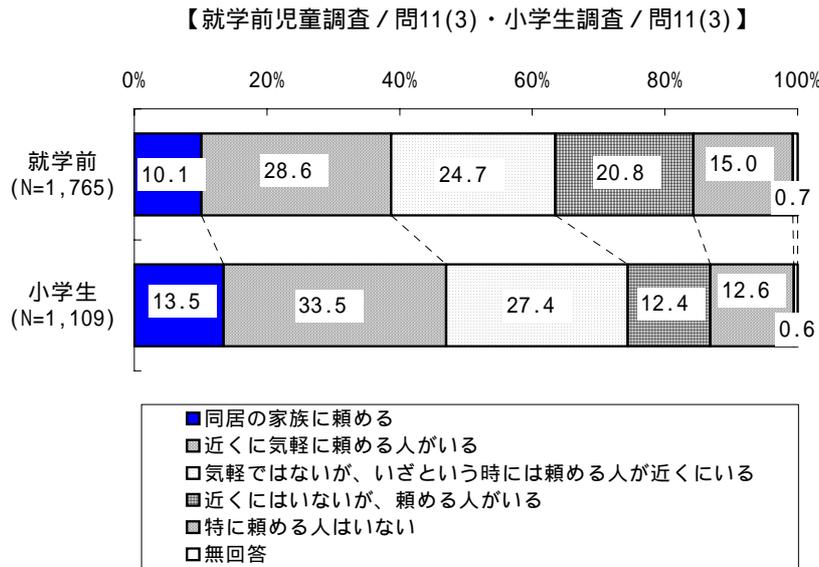
【就学前児童調査 / 問11(1)・小学生調査 / 問11(1)】



「非常に協力的である」「比較的協力的である」の計

2 - 2 親族や友人・知人の子育てへの関わり方

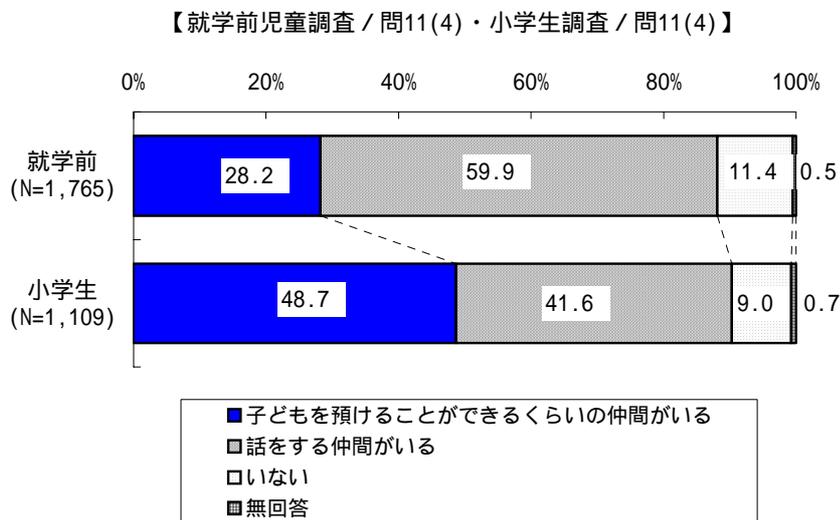
親族や友人・知人の子育てへの関わり方について、支援を「頼める人が近くにいる」と答えた人は、就学前児童の保護者で53.3%、小学生の保護者で60.9%となっている。「同居の家族に頼める」と答えた人は、就学前児童の保護者、小学生の保護者とも1割強である。一方、「特に頼める人はいない」と答えた人は、就学前児童の保護者で15.0%、小学生の保護者で12.6%となっている。



「近くに気軽に頼める人がいる」「気軽ではないが、いざという時には頼める人が近くにいる」の計

2 - 3 子育ての仲間の有無

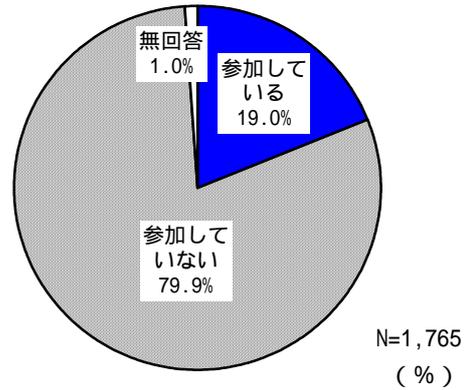
子育て仲間について、「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」人は、就学前児童の保護者で28.2%、小学生の保護者で48.7%となっている。一方、子育て仲間が「いない」人は、就学前児童の保護者、小学生の保護者とも約1割である。



2 - 4 子育てサークルへの参加状況

【就学前児童調査 / 問11(5)】

子育てサークルについては、就学前児童の保護者の約2割が参加している。



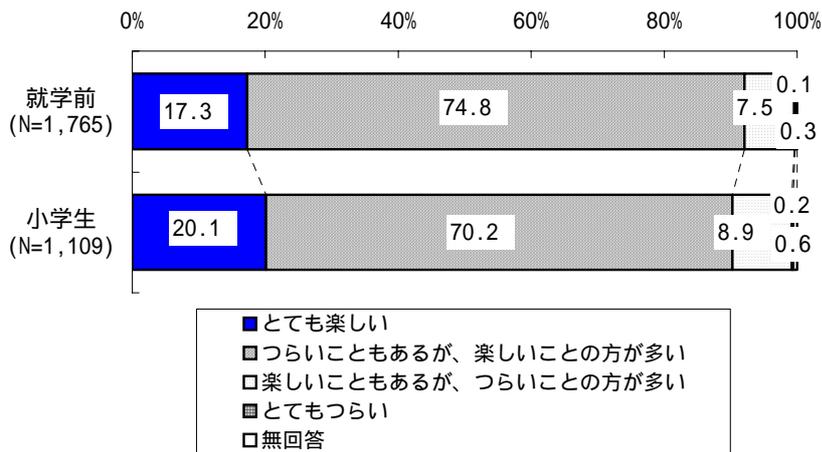
(3) 子育ての意識

3 - 1 子育てについて感じていること

子育ての楽しさ

子育てについては、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに、「つらいこともあるが、楽しいことの方が多い」が7割を占める。「楽しい」¹と感じている人は、就学前児童の保護者で92.1%、小学生の保護者で90.3%、反対に、「つらい」²と感じている人は、就学前児童の保護者で7.6%、小学生の保護者で9.1%となっている。

【就学前児童調査 / 問9(1) / 小学生調査 / 問9(1)】



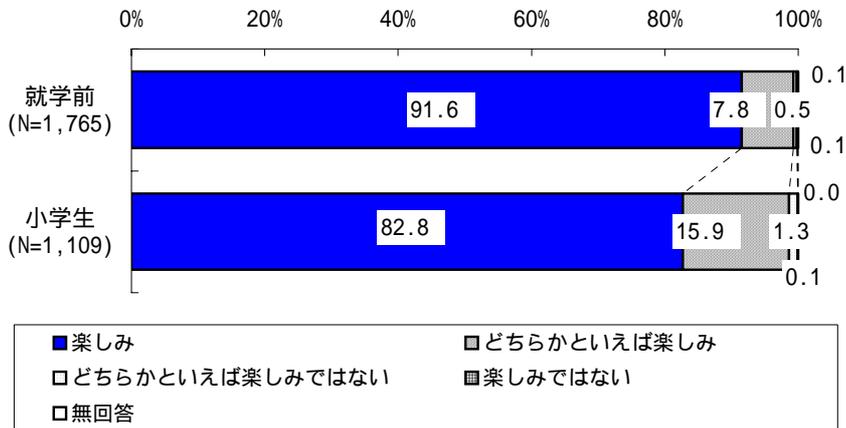
1 「とても楽しい」「つらいこともあるが、楽しいことの方が多い」の計

2 「とてもつらい」「楽しいこともあるが、つらいことの方が多い」の計

子どもの成長

子どもの成長を「楽しみ」と答えた人は、就学前児童の保護者で91.6%、小学生の保護者で82.8%を占めている。「どちらかといえば楽しみではない」「楽しみではない」と答えた人は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに2%に満たない。

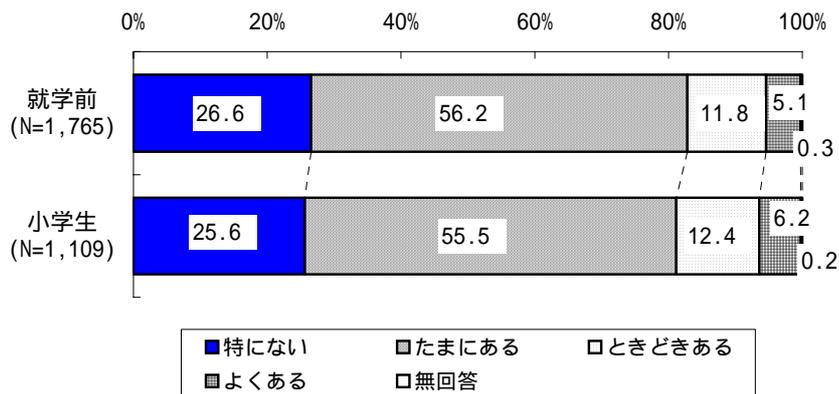
【就学前児童調査／問9(2)／小学生調査／問9(2)】



子育てに自信が持てなくなること

子育てに自信がもてなくなることが「たまにある」人は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに5割台となっている。また、自信が持てなくなることの比較的多い人は、就学前児童の保護者で16.9%、小学生の保護者で18.6%となっている。

【就学前児童調査／問9(3)／小学生調査／問9(4)】

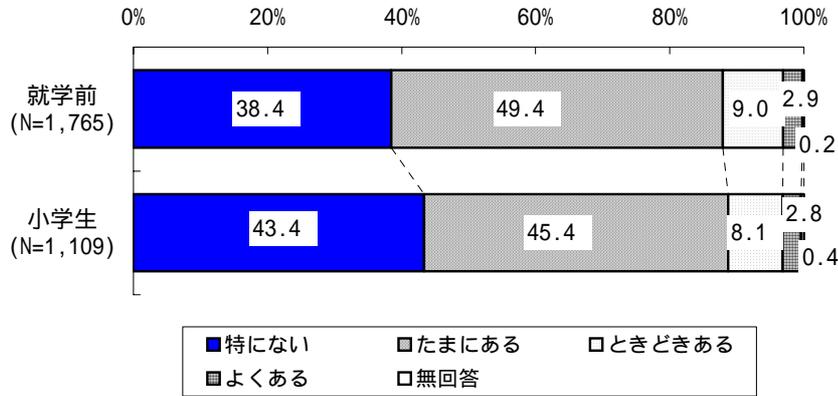


「ときどきある」「よくある」の計

子育てが嫌になること

子育てが嫌になることが「たまにある」人は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに4割台後半となっている。また、子育てが嫌になることの比較的多い人は、就学前児童の保護者で11.9%、小学生の保護者で10.9%となっている。

【就学前児童調査 / 問9(4) / 小学生調査 / 問9(5)】

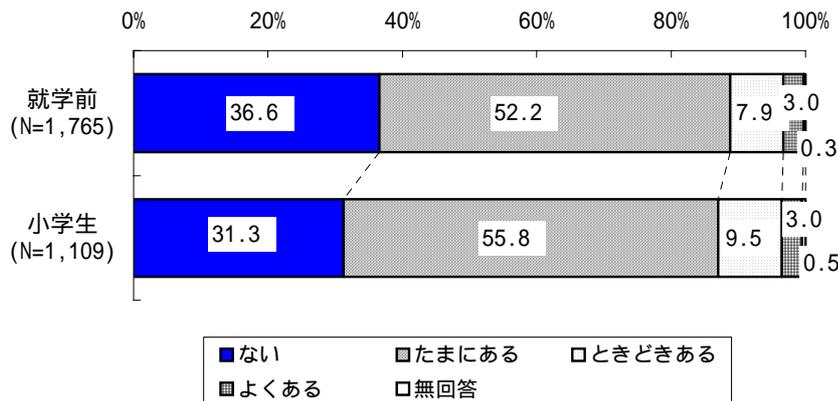


「ときどきある」「よくある」の計

カッとして子どもをたたいてしまうこと

カッとして子どもをたたいてしまうことが「たまにある」人は、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに5割台である。また、カッとして子どもをたたいてしまうことの比較的多い人は、就学前児童の保護者で10.9%、小学生の保護者で12.5%となっている。

【就学前児童調査 / 問9(5) / 小学生調査 / 問9(6)】

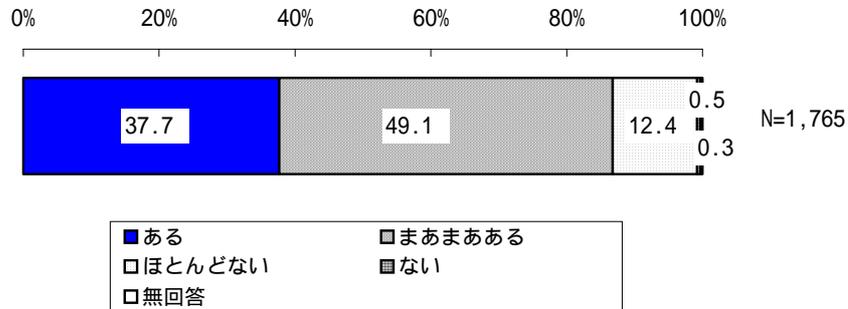


「ときどきある」「よくある」の計

ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間

就学前児童の保護者のうち、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間が「ある」人は37.7%、「まあまあある」人は49.1%となっている。

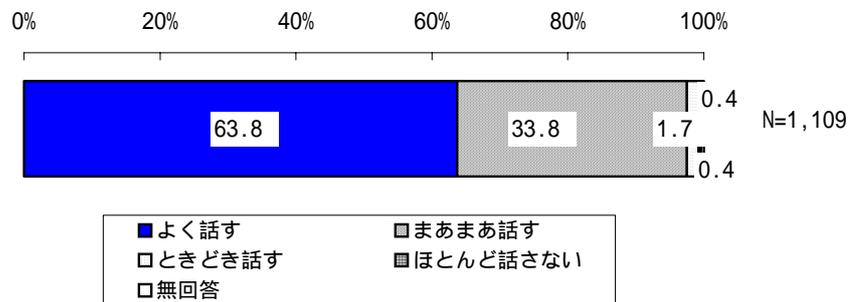
【就学前児童調査 / 問9(6)】



子どもとの会話

小学生の保護者のうち、子どもと「よく話す」人は63.8%、「まあまあ話す」人は33.8%となっている。

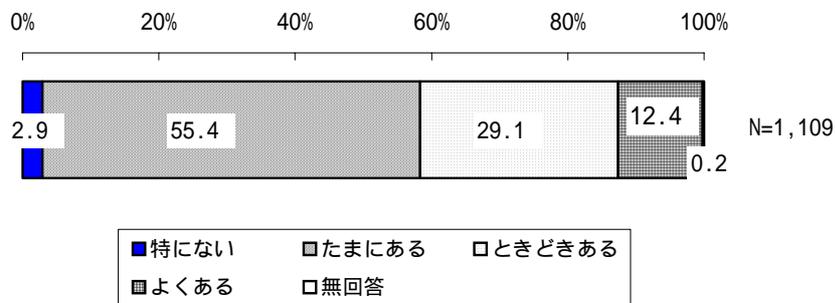
【小学生調査 / 問9(3)】



しつけのために厳しくしかること

小学生の保護者のうち、しつけのために子どもを厳しくしかることが「たまにある」人は、55.4%と半数以上を占めている。また、しつけのために厳しくしかることの比較的多い人は、41.5%となっている。

【小学生調査 / 問9 (7)】

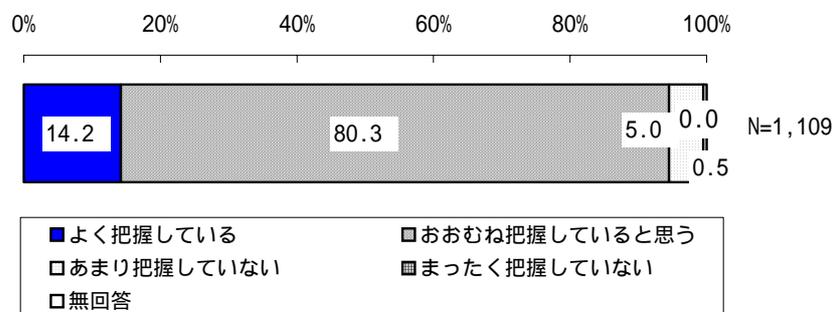


「ときどきある」「よくある」の計

子どもの考えていることや家庭以外での行動の把握

小学生の保護者のうち、子どもの考えていることや家庭以外での過ごし方を「よく把握している」と答えた人は14.2%、「おおむね把握していると思う」と答えた人は80.3%となっている。

【小学生調査 / 問9 (8)】

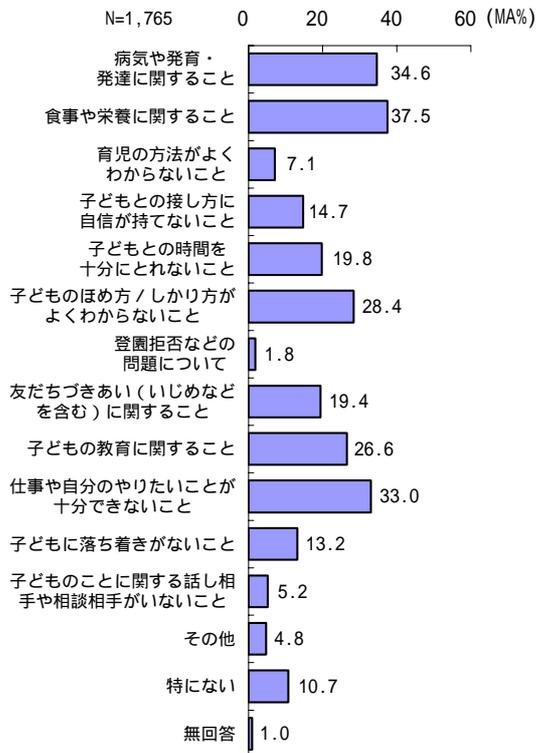


3 - 2 子育てについて日常悩んでいること

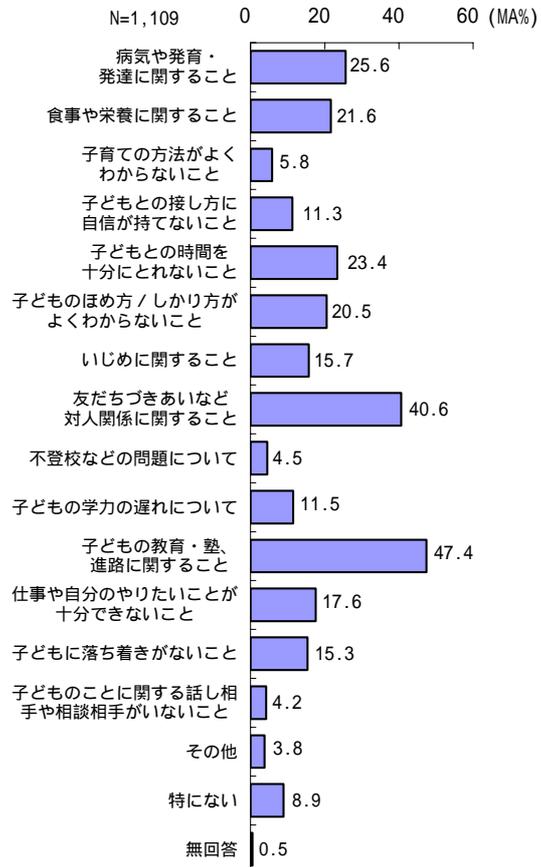
子育てについて日常悩んでいることや気になることは、就学前児童の保護者では、「食事や栄養に関すること」(37.5%)、「病気や発育・発達に関すること」(34.6%)、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」(33.0%)の3項目が3割以上、次いで「子どものほめ方/しかり方がよくわからないこと」(28.4%)、「子どもの教育に関すること」(26.6%)の2項目が2割以上となっている。

小学生の保護者では、「子どもの教育・塾、進路に関すること」(47.4%)、「友だちづきあいなど対人関係に関すること」(40.6%)の2項目が4割以上、次いで「病気や発育・発達に関すること」(25.6%)、「子どもとの時間を十分にとれないこと」(23.4%)、「食事や栄養に関すること」(21.6%)、「子どものほめ方/しかり方がよくわからないこと」(20.5%)の4項目が2割以上となっている。

【就学前児童調査/問10】



【小学生調査/問10】



3 子育て支援サービスの利用状況と利用意向

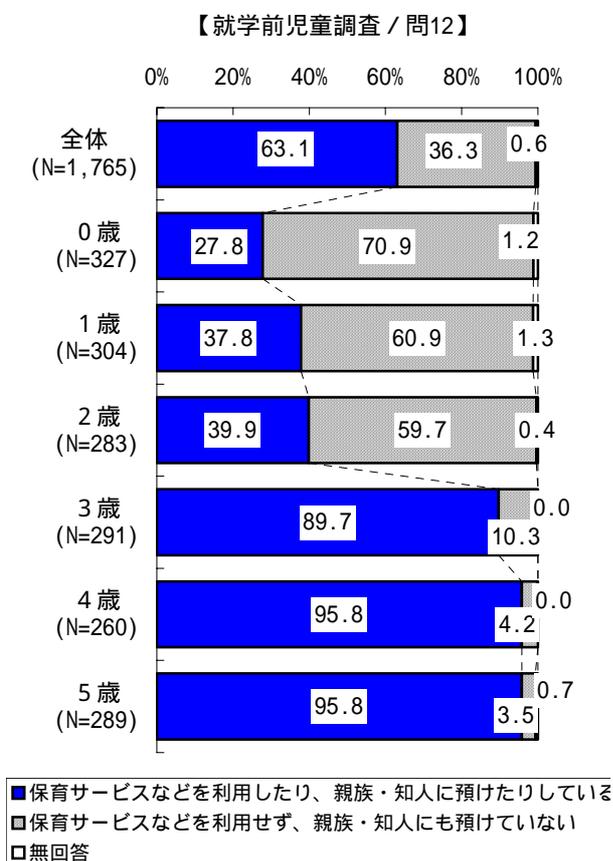
(1) 保育サービスの利用状況・利用意向

1-1 就学前の保育サービスの利用状況

平日のサービス種類別の利用状況

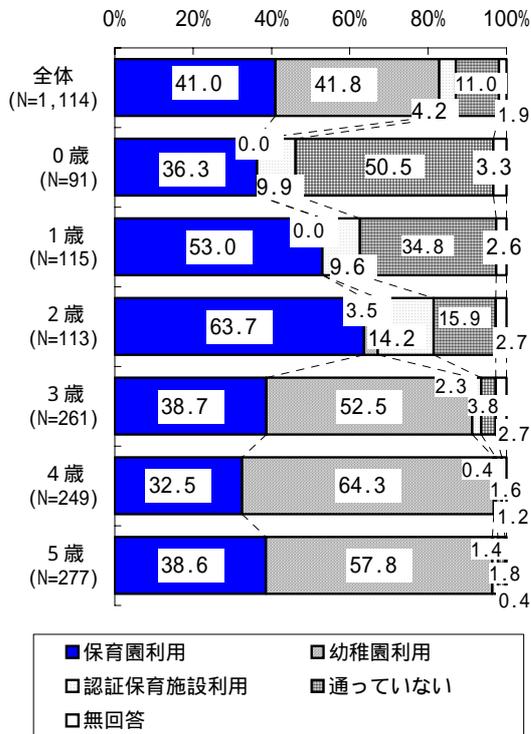
平日の保育サービス等の利用状況についてみると、「保育サービスなどを利用したり、親族・知人に預けたりしている」は、0歳児で27.8%となっている。保育サービスなどの利用者割合は子どもの年齢とともに増加し、3歳以上では約9割以上を占める。

サービスの種類別にみると、「保育サービスなどを利用したり、親族・知人に預けたりしている」人全体に占める保育園の利用率は、2歳児が63.7%と最も高く、次いで1歳児53.0%となっている。3～5歳児では、幼稚園が5割～6割以上を占める。また、親族や知人に預けている人は、0～1歳児で3割前後となっている。



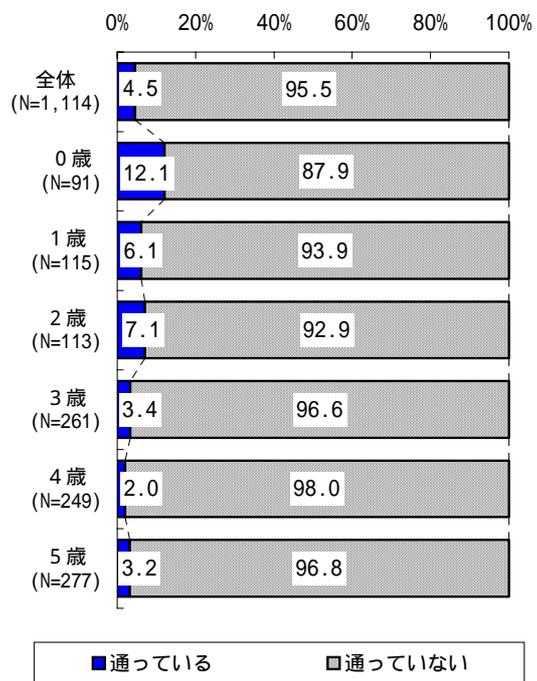
保育園、幼稚園、認証保育施設

【就学前児童調査 / 問13(1)】



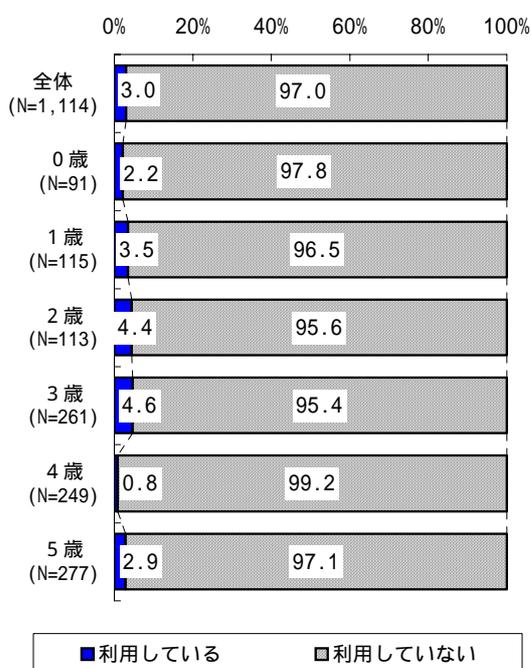
認可外保育施設

【就学前児童調査 / 問14(1)】



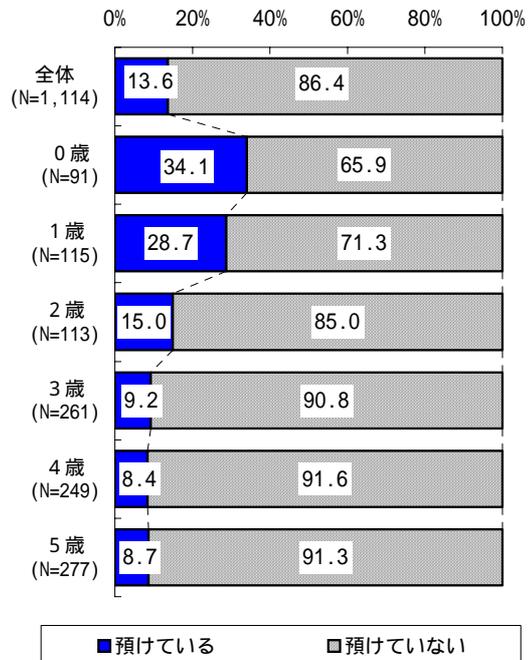
ベビーシッター・ファミリーサポートセンター事業など

【就学前児童調査 / 問15(1)】



親族や知人

【就学前児童調査 / 問16(1)】

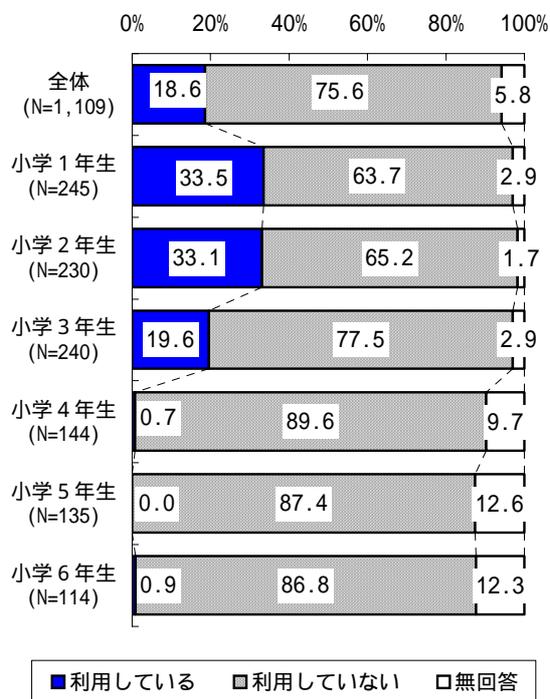


1 - 2 放課後児童クラブの利用状況

平日の放課後児童クラブの利用状況

放課後児童クラブの利用状況を見ると、1年生、2年生で3割強、3年生で約2割となっている。

【小学生調査 / 問15【平日】(1)】

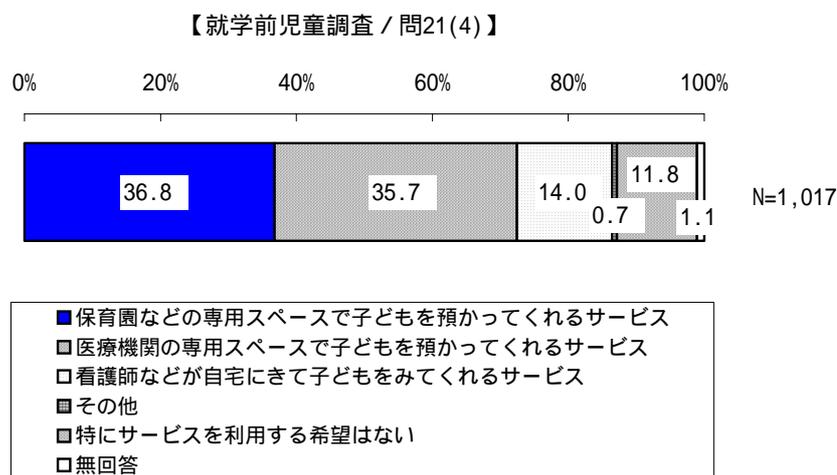


(注)利用している
「週4日以上利用している」「週1~3日利用している」の計

1 - 3 病児・病後児保育

病児・病後児保育の利用希望形態

病児・病後児保育の利用希望形態は、「保育園などの専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」(36.8%)、「医療機関の専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」(35.7%)が多い。



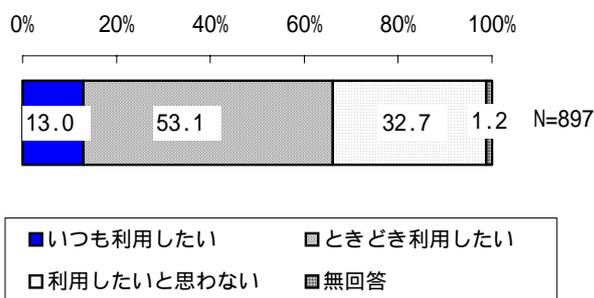
病児・病後児保育の利用意向

病児保育の利用意向は、「いつも利用したい」13.0%、「ときどき利用したい」53.1%となっている。

病後児保育の利用意向は、「いつも利用したい」20.7%、「ときどき利用したい」61.2%となっている。

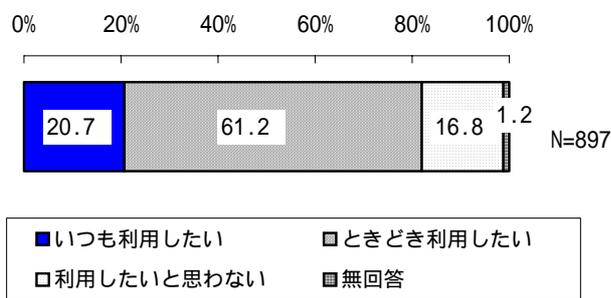
病児保育

【就学前児童調査 / 問21(5)】



病後児保育

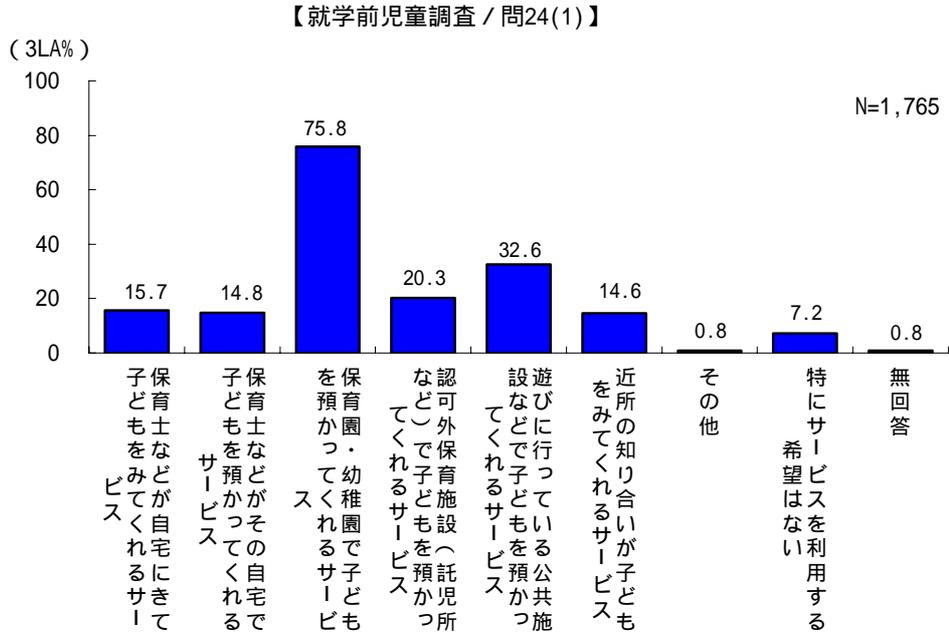
【就学前児童調査 / 問21(5)】



1 - 4 一時保育

一時保育の利用希望形態

一時保育の利用希望形態については、「保育園・幼稚園で子どもを預かってくれるサービス」が75.8%と最も多く、次いで「遊びに行っている公共施設などで子どもを預かってくれるサービス」が32.6%となっている。



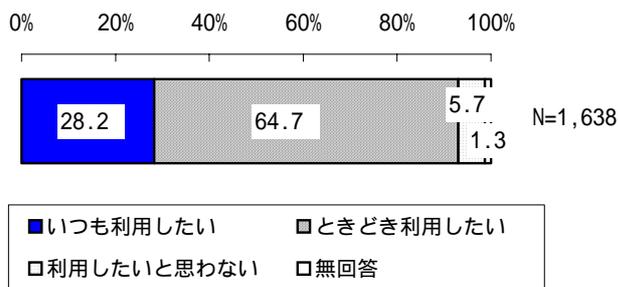
一時保育の利用意向

緊急の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）では、「いつも利用したい」28.2%、「ときどき利用したい」64.7%となっている。

私用（美容院、習い事、スポーツ、会合など）では、「いつも利用したい」9.3%、「ときどき利用したい」68.9%となっている。

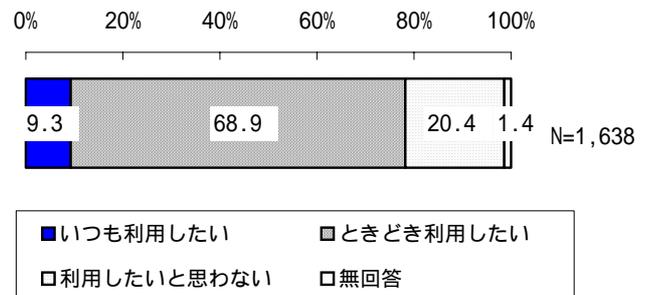
緊急の用事

【就学前児童調査 / 問24(2)】



私用

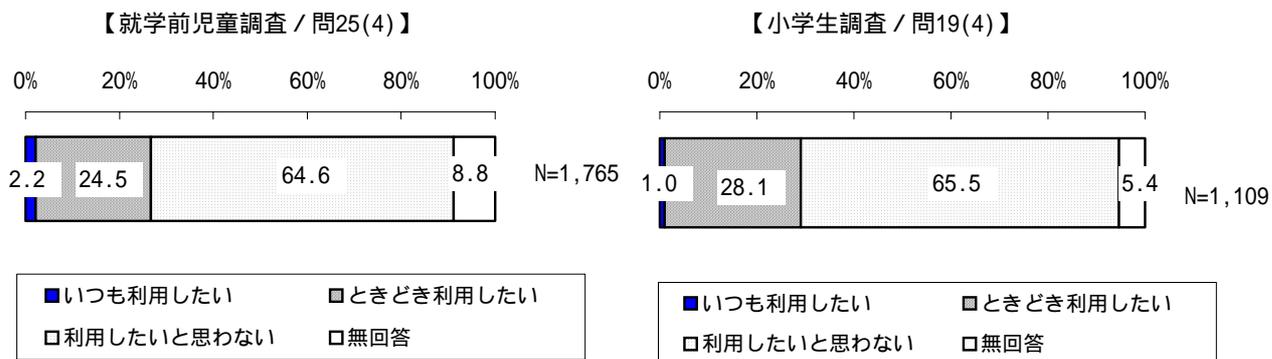
【就学前児童調査 / 問24(2)】



1 - 5 ショートステイ（泊りがけ保育）

ショートステイ（泊りがけ保育）の利用意向

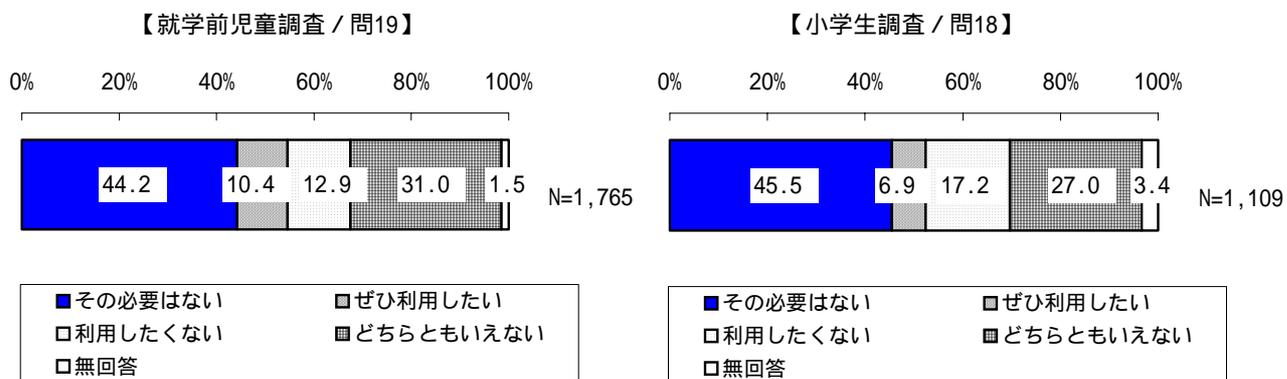
ショートステイ（泊りがけ保育）の利用意向について、就学前児童の保護者では、「いつも利用したい」2.2%、「ときどき利用したい」24.5%となっている。小学生の保護者では、「いつも利用したい」1.0%、「ときどき利用したい」28.1%となっている。



1 - 6 トワイライトステイ事業

トワイライトステイ事業の利用意向

トワイライトステイ事業の利用意向について、「ぜひ利用したい」と答えた人は、就学前児童の保護者で10.4%、小学生の保護者で6.9%となっている。

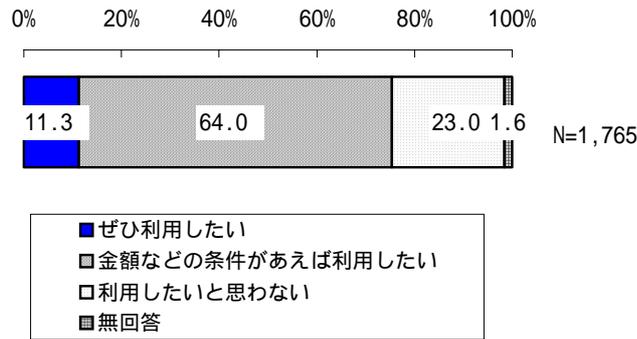


1 - 7 産後ホームヘルパー

産後ホームヘルパーの利用意向

産後ホームヘルパーの利用意向について、就学前児童の保護者では、「ぜひ利用したい」11.3%、「金額などの条件があれば利用したい」64.0%となっている。

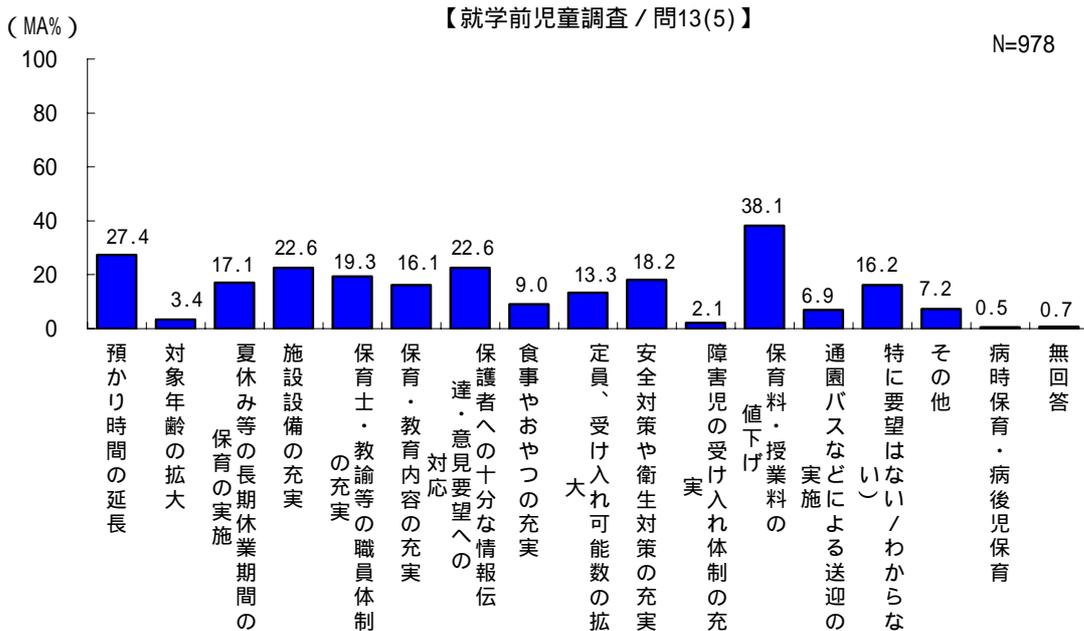
【就学前児童調査 / 問26】



(2) 保育施設や幼稚園に関する意識

2 - 1 保育施設や幼稚園に関する要望

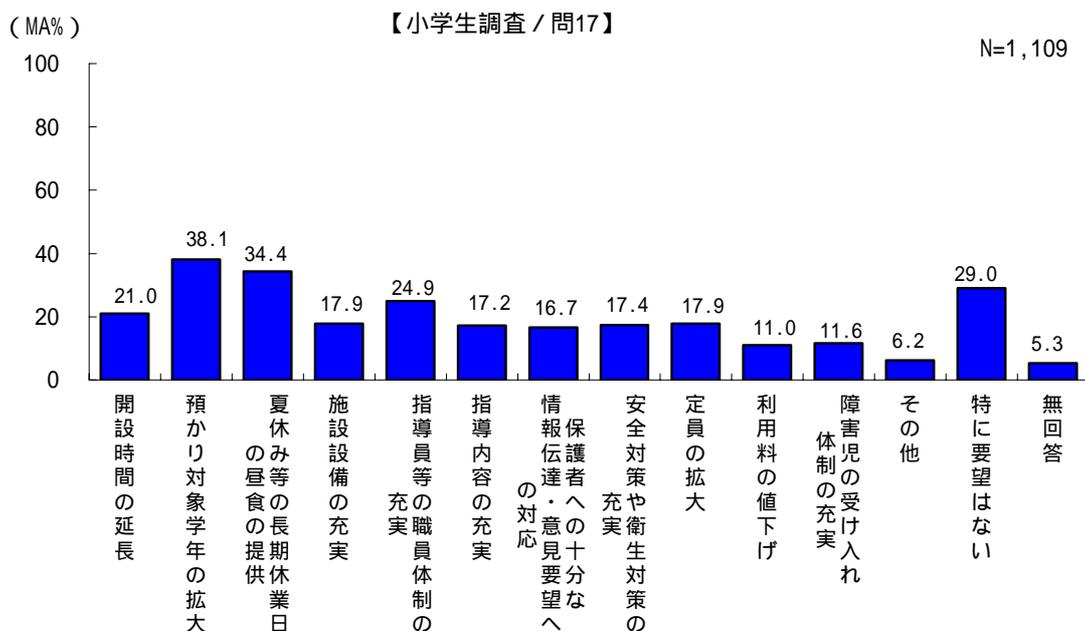
保育施設や幼稚園に関する要望は、「保険料・授業料の値下げ」が38.1%と最も多く、次いで「預かり時間の延長」(27.4%)、「施設設備の充実」(22.6%)、「保護者への十分な情報伝達・意見要望への対応」(22.6%)の3項目が2割以上となっている。



「病時保育・病後児保育」は「その他」の記入内容の別掲。

2 - 2 放課後児童クラブに関する要望

放課後児童クラブに関する要望は、「預かり対象学年の拡大」(38.1%)、「夏休み等の長期休業日の昼食の提供」(34.4%)の2項目が3割以上、次いで「指導員等の職員体制の充実」(24.9%)、「開設時間の延長」(21.0%)の2項目が2割以上となっている。

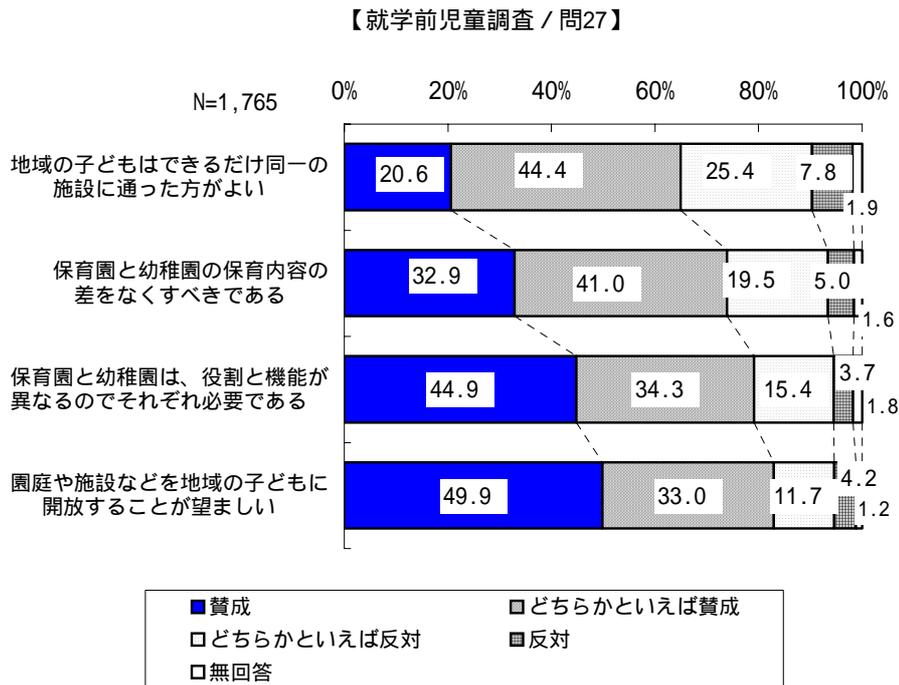


2 - 3 保育園や幼稚園のあり方に関する考え方

保育園や幼稚園に関する考え方について、「賛成」と回答した人の割合をみると、「園庭や施設などを地域の子どもに開放することが望ましい」「保育園と幼稚園は、役割と機能が異なるので、それぞれ必要である」の2項目については約8割となっている。「保育園と幼稚園の保育内容の差をなくすべきである」はこれらよりやや低く73.9%、「地域の子どもはできるだけ同一の施設に通った方がよい」は65.0%となっている。

保育園や幼稚園などのことについての意見として具体的に挙げられたことのうち、まず幼稚園と保育園の関係性に関することとしては、「幼稚園・保育園の保育内容や教育内容の差をなくしてほしい」、「幼稚園・保育園にはそれぞれ長所と短所があるので自分達にあうところに通うことが一番である」、「親の就労状況が違くと子どもが混乱するので両施設は存在すべき」などであった。

保育園に関することとして挙げられていた具体的な意見は、「職員数の確保」、「人員削減への反対」、「就労の有無もしくは長時間保育が保育園の受け入れ要件になるのは申請が正しくない場合もあり不公平である」などである。幼稚園に関することとしては、「幼稚園の申し込みが夜から並ぶなど大変」、「幼稚園を選ぶ際の情報がほしい」などの意見があった。

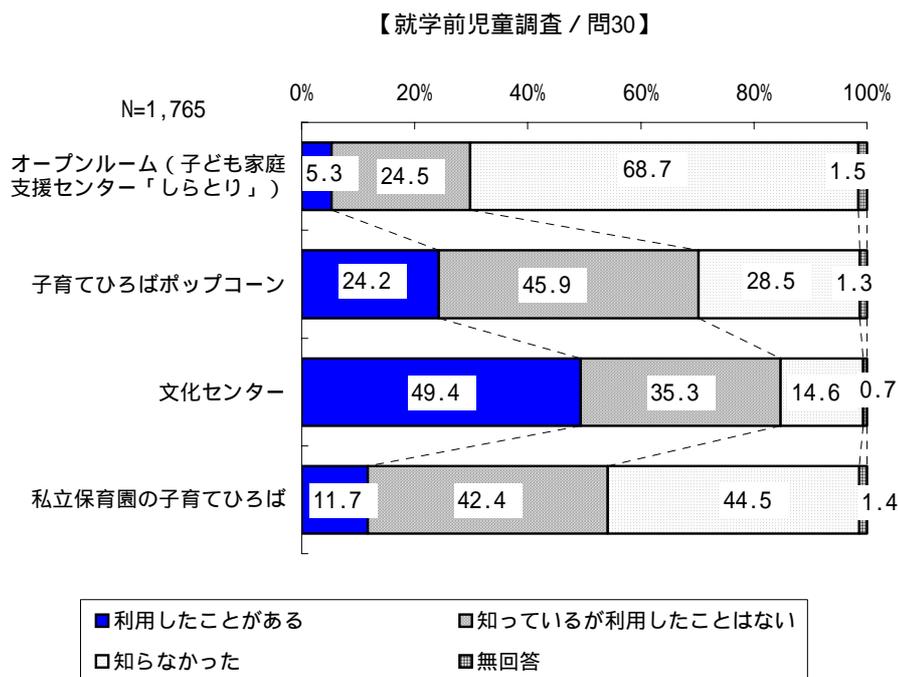


「賛成」「どちらかといえば賛成」の計

(3) 集いの場や遊び場の利用状況と利用意向

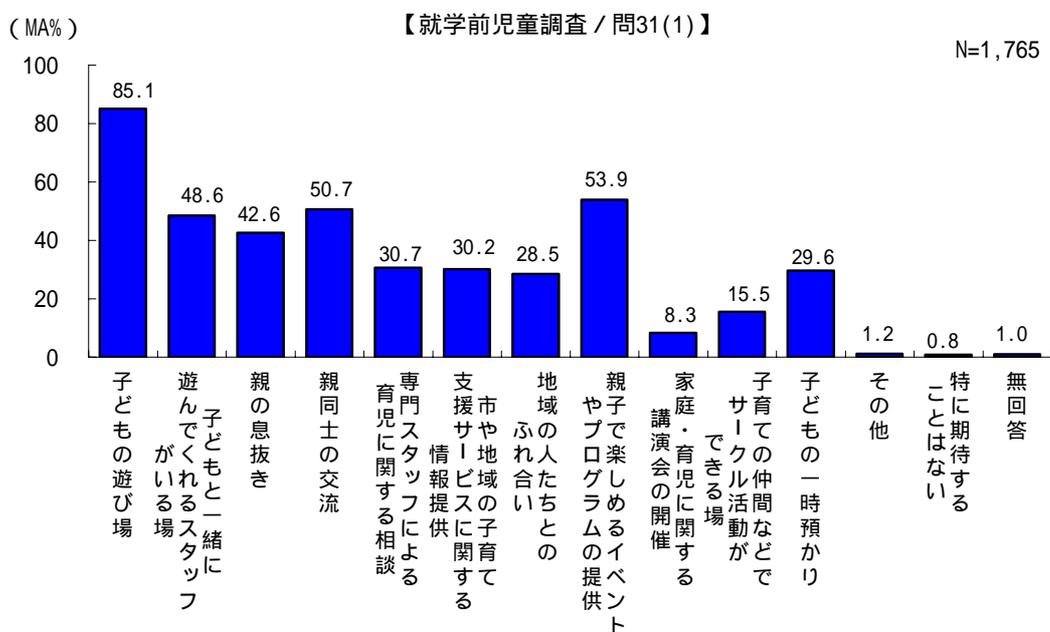
3-1 親子で集える場の認知状況

親子で集える場の認知状況をみると、利用したことがある割合は「文化センター」が49.4%と最も高く、次いで「子育てひろばポップコーン」24.2%、「私立保育園の子育てひろば」11.7%となっている。



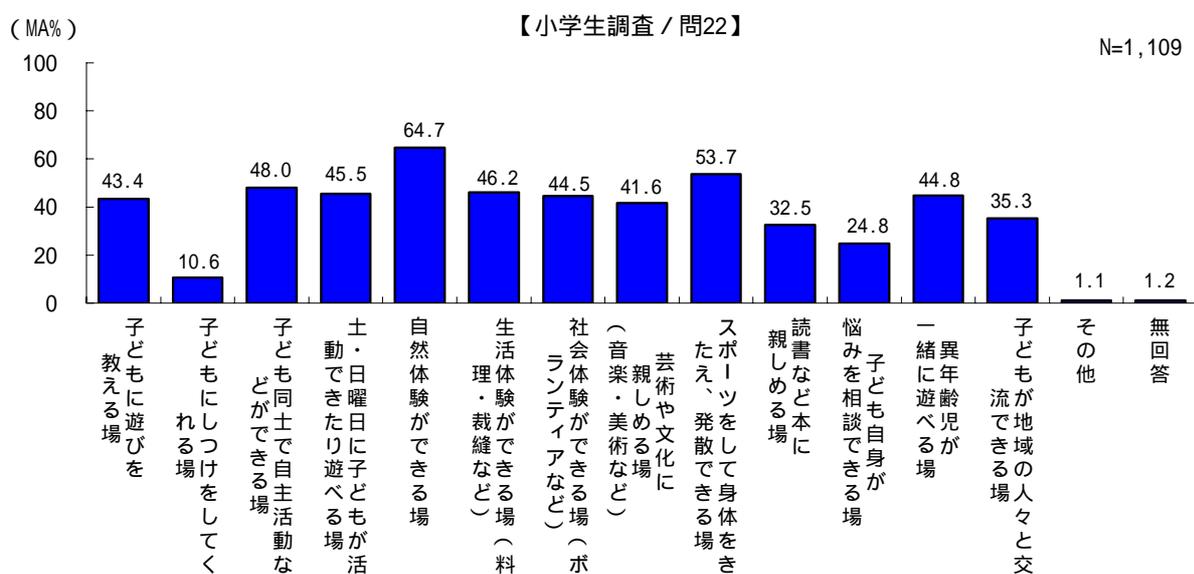
3 - 2 親子で集える場に期待する役割

親子で集える場に期待する役割は、「子どもの遊び場」が85.1%と最も多く、次いで「親子で楽しめるイベントやプログラムの提供」53.9%、「親同士の交流」50.7%、「子どもと一緒に遊んでくれるスタッフがいる場」48.6%、「親の息抜き」42.6%などとなっている。



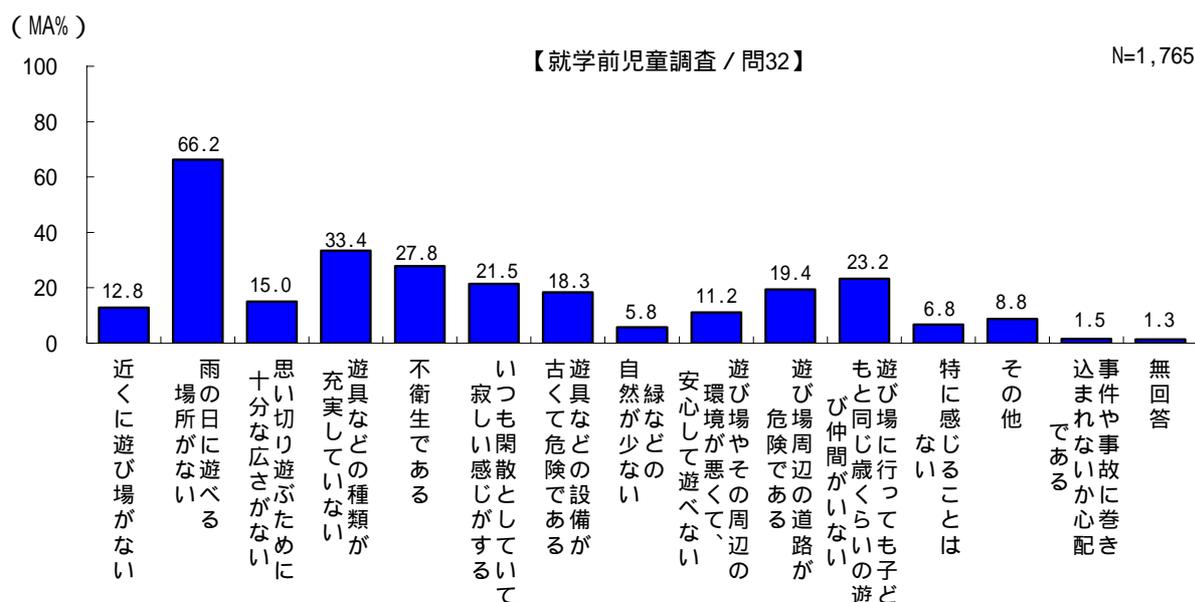
3 - 3 身近な地域で子どもが集う場に期待する役割

身近な地域で子どもが集う場に期待する役割は、「自然体験ができる場」が64.7%と最も多く、次いで「スポーツをして身体をきたえ、発散できる場」が53.7%となっている。これら以外の7つの項目についても4割を超えている。



3 - 4 子どもの遊び場について感じること

子どもの遊び場について感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が66.2%と最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」33.4%、「不衛生である」27.8%となっている。「遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない」(23.2%)、「いつも閑散としていて寂しい感じがする」(21.5%)の2項目についても2割以上であった。また、「その他」として「事件や事故に巻き込まれないか心配である」をあげた人が多かった。



「事件や事故に巻き込まれないか心配である」は「その他」の記入内容の別掲。

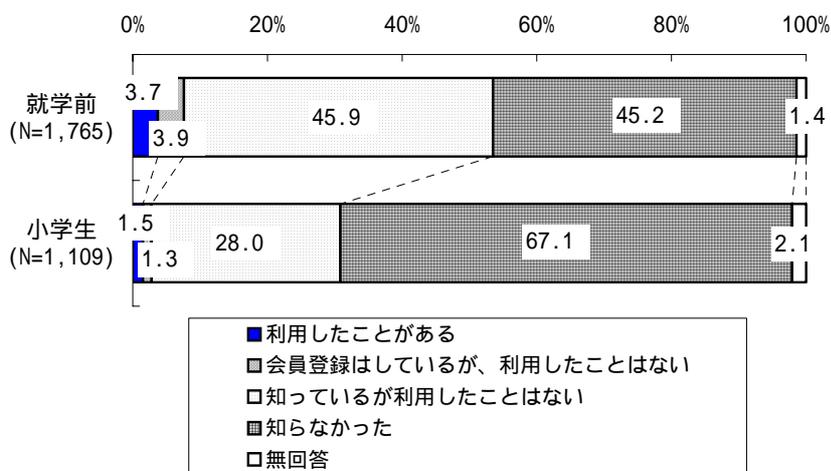
(4) その他の子育て支援サービスの利用状況と利用意向

4-1 ファミリーサポートセンター事業の利用状況・利用意向

ファミリーサポートセンター事業の利用状況

ファミリーサポートセンター事業を利用したことがある人は、就学前児童の保護者で3.7%、小学生の保護者で1.5%となっている。就学前児童の保護者では「利用したことがない」人が約5割、小学生の保護者では「知らなかった」人が約7割を占める。

【就学前児童調査 / 問28(1)・小学生調査 / 問20(1)】

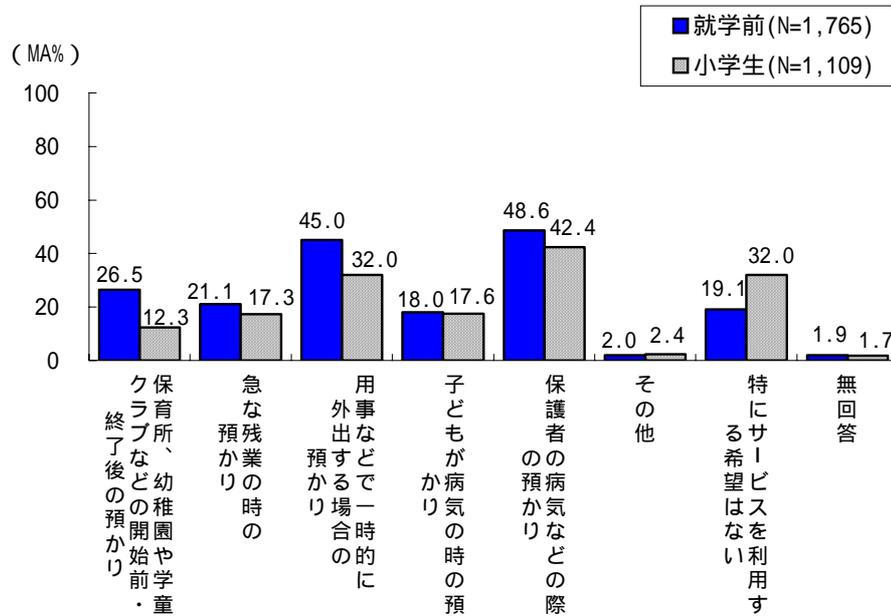


「会員登録はしているが、利用したことはない」「知っているが利用したことはない」の計

ファミリーサポートセンター事業の利用意向

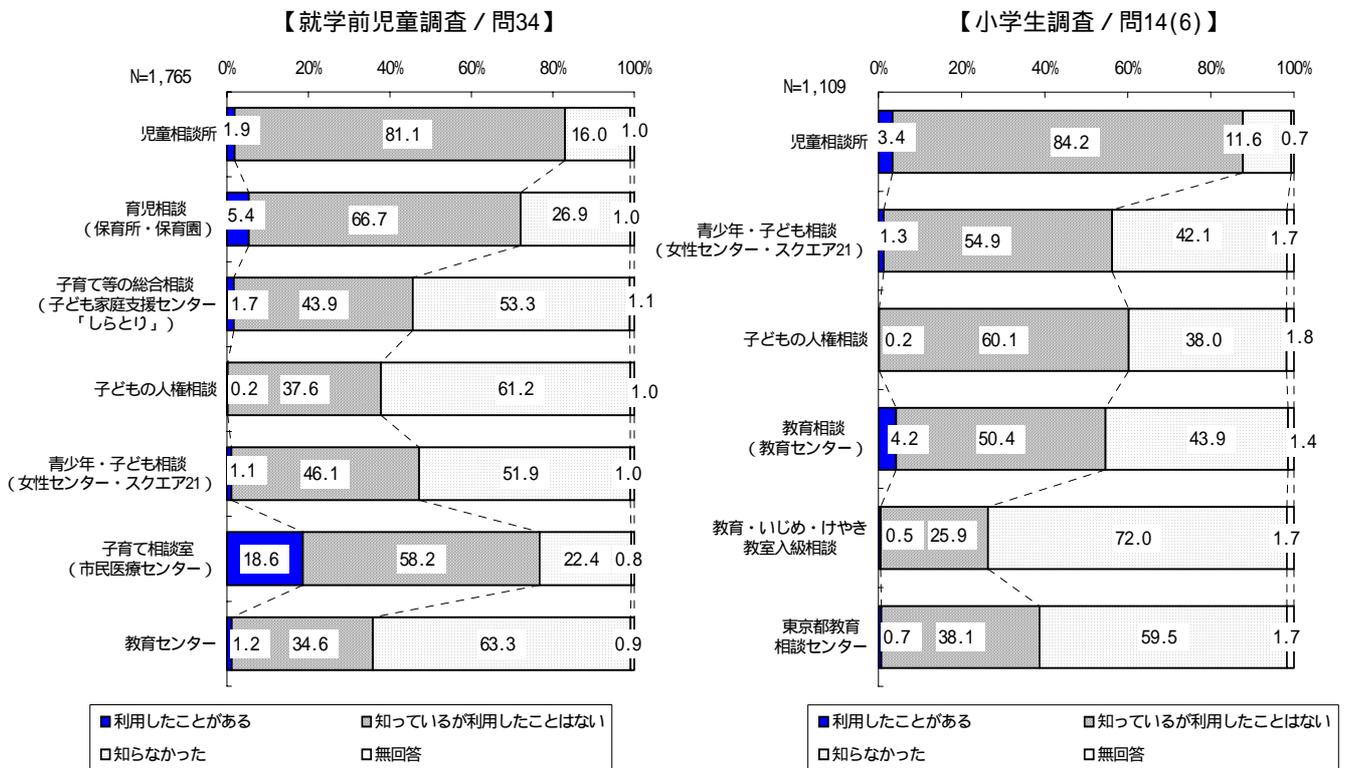
ファミリーサポートセンター事業の利用意向を内容別にみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「保護者の病気などの際の預かり」が最も多く、次いで「用事などで一時的に外出する場合の預かり」が多い。

【就学前児童調査 / 問28(3)・小学生調査 / 問20(3)】



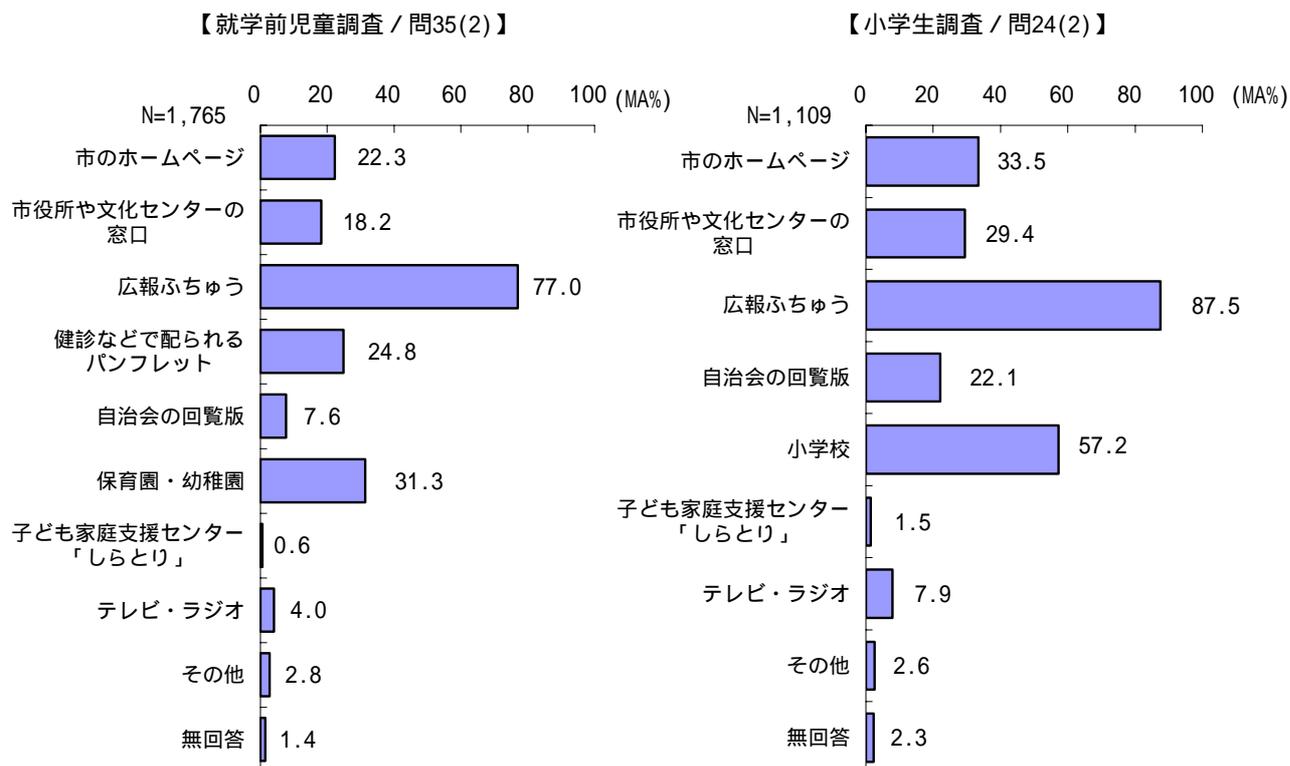
4 - 2 子育てに関する相談窓口の認知度 / 利用状況

就学前児童の保護者のうち、「子育て相談室（市民医療センター）」を利用したことがある人は18.6%と、他の相談窓口と比べ利用割合が高くなっている。小学生の保護者ではいずれの相談窓口については利用割合は5%を下回る。また、「知っているが利用したことはない」という割合は、就学前児童の保護者では「児童相談所」（81.1%）「育児相談（保育所・保育園）」（66.7%）「子育て相談室（市民医療センター）」（58.2%）の3項目、小学生の保護者では「児童相談所」（84.2%）「子どもの人権相談」（60.1%）「青少年・子ども相談（女性センター・スクエア21）」（54.9%）「教育相談（教育センター）」（50.4%）の4項目について5割を超えている。



4 - 3 子育て支援サービスに関する情報の入手方法

行政の子育て支援サービスに関する情報の入手先としては、就学前児童の保護者、小学生の保護者とも、「広報ふちゅう」を希望する人が圧倒的に多い。次いで、就学前児童の保護者では「保育園・幼稚園」(31.3%)、小学生の保護者では「小学校」(57.2%)が多く、また、「市のホームページ」も約2～3割となっている。



(5) 市の子育て支援施策について (自由意見からの抜粋)

< 保育サービスについて >

就労している親にとっては、子どもが病気になった時に預かってくれる施設がほしい。
延長保育をする園を増やしてほしい。特に市中心部以外で。
保育園入所にあたってきょうだい別々に入所になるのは困る。
認可外保育施設では赤字になるため仕事ができない。
親類等から手助けが得られない人のためのホームヘルパーを充実させてほしい。
ファミリーサポートサービスは、地域によってはサービス提供者がほとんどなくサービスを受けられない場合がある。
学童クラブを小学校6年生まで延長し、内容も学習面を充実させてほしい。
学童クラブで障害児を預かってほしい。それに対応できる専門の職員を配置してほしい。

< 教育について >

子どもの心の教育に力を入れてほしい。
父親は参加できる機会を増やしてほしい。入学説明会などを平日昼間に行うことなどは父親の参加機会を奪う。
小中学校を選択できるようにしてほしい。
学校の危機管理対策を充実してほしい。
いじめや教師による暴力などに対して適切に対応してほしい。

< 子どもの遊び場や親子の集いの場について >

府中には緑の多い大きい公園がたくさんあるのに、外遊びがあまりみられない。小学生が外でのびのび安心して遊べる環境の充実。
文化センターが地域によって設置・整備状況に差があり、小中学校の空き教室を利用するなど身近に気軽に利用できる施設がほしい。
学童クラブに通う子どもが増えており、学童クラブに入っていない子どもの遊ぶ場がない。
親子が子どもをあそばせ、親同士がリラックスして情報交換できる場所を増やしてほしい。
子育てひろば、ポップコーンの場所を増やしてほしい。
雨の日でも遊べる場所を増やしてほしい。
古くなった公園等の整備をしてほしい。

< 子育てに配慮したまちづくりについて >

地域ぐるみで不審者等の対策や登下校時の安全対策に取り組むべき。
近くの駅にエレベーターがなく、階段の昇り降りが大変で、歩いていけるところしか行けない。

< その他子育て支援について >

子どもの療育機関や障害を判定するための知識をもった医師・保健師等が少ない。

府中市は良い施設は多数あるが、十分に活用できていない。

親子と一緒にいられる時間を長くするための働きかけをしてほしい。

所得制限のある助成制度は特に中間所得層には不公平な制度ではないか。

医療費助成の年齢を小学校入学まで引き上げてほしい。

子育て中の親子が孤独や不安を感じているが、地域で温かく母親も子どもも一緒に育てていけるそんな意識の高い環境になればよいと思う。